

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【公開番号】特開 2012-243032 (P2012-243032A)

【公開日】平成 24 年 12 月 10 日 (2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2012-052

【出願番号】特願 2011-111644 (P2011-111644)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 2 2 0 Z

G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 27 日 (2014.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出する評価値算出部を

備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記評価値算出部は、前記評価値 $s_t = \text{移動偏差 } v_t / \text{移動偏差 } v_{t-1}$ を算出する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記評価値算出部は、連続的な時系列データを測定期間毎に集計して前記離散系の時系列データに変換する

請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記評価値算出部は、前記測定期間を時間的に重複して設け、連続的な時系列データを前記測定期間毎に集計して前記離散系の時系列データに変換する

請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

情報処理装置の情報処理方法において、

情報処理装置による、

測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、

所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、

測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出する

ステップを含む情報処理方法。

【請求項 6】

コンピュータを、

測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出する評価値算出部

として機能させるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示の一側面である情報処理装置は、測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出する評価値算出部を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記評価値算出部は、前記評価値 $s_t = \text{移動偏差 } v_t / \text{移動偏差 } v_{t-1}$ を算出することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本開示の一側面である情報処理方法は、情報処理装置による、測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出するステップを含む。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本開示の一側面であるプログラムは、コンピュータを、測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t を算出し、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏

差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t を算出する評価値算出部として機能させる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本開示の一側面においては、測定期間 i におけるサンプリング値 x_i からなる離散系の時系列データが取得され、所定の測定期間 t 以前の所定の期間に対応する N 個のサンプリング値 $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$ の移動平均 m_t に基づく移動偏差 v_t が算出され、測定期間 t に対応する移動偏差 v_t と測定期間 $t-1$ に対応する移動偏差 v_{t-1} とに基づいて、測定期間 t における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値 s_t が算出される。